

令和4年度 事業報告

北海道における高齢化率（令和4年1月1日現在）は、32.5%となっており、全国平均を3.5ポイント上回っているなど少子高齢化が急速に進行している。

また、道内会員の平均年齢も新規加入者の減少及び高齢化などから令和4年度では74.6歳となり、前年度と比べ0.4歳延びたところである。

このような中、道内のシルバー人材センター事業については、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（サポート事業）や、平成30年度からスタートした第2次会員100万人達成計画（北海道版）に基づき、会員拡大や就業先の確保等のための事業を展開したが、年度を通じて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響（以下「コロナ禍」という。）により厳しいセンター運営を余儀なくされた。

会員数については、各センターの能動的な取組（各種入会促進イベント等）が、コロナ禍の中で中止を余儀なくされるなど、著しい影響を受けた結果、前年度を347人下回る15,505人となった。

個別のセンターの状況では、令和3年度より会員が増加したセンターは13センターあった。

コロナ禍の中でも各センターが取り組んだPDCAによる目標管理と地道な取組が一定の成果を上げていることから、引き続きPDCAによる目標管理等に取り組んでいく必要がある。

シルバー事業関係では、請負委任事業における契約金額については、1億5千789万3千円増の56億5千803万8千円となった。

一方、労働者派遣事業については、36実施事務所がシルバー派遣を行い、契約金額は8億8千57万2千円となり前年度に比べ5千949万6千円の減となった。

適正就業の観点や会員のニーズに応じた新たな職域を開拓するうえでも効果的な労働者派遣事業と、高齢会員のペースに合わせた就業が比較的可能な請負委任事業と、それぞれの事業について需要確保を図りながら、会員の選択肢を広げていくことが重要である。

近年、急速な少子高齢化社会が進展する中、人手不足分野や保育及び介護等の現役世代を支える分野での労働力確保に貢献するシルバー人材センターに対し、企業や地方自治体からも大きな期待が寄せられている。

また、就業を通じて健康を維持し、収入を得るという側面だけではなく、社会参加活動や、社会貢献活動を実施しているシルバー人材センターが果たすべき役割はますます重要になっている。

令和4年度における各事業の取り組み状況は次のとおりである。

1 普及啓発事業

(1) 普及啓発促進月間の設定

① 10月の「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」には、各センターにおいてシルバーフェスティバル、ボランティア活動等の地域に密着した多彩な取り組みを計画していたが、コロナ禍により中止や縮小を余儀なくされたセンターも少なくない。

連合会においては北海道知事、北海道労働局、北海道市長会、北海道町村会、経済6団体等関係機関への協力要請を行った。

② 「シルバーの日」の設定 [令和4年10月15日(土)]

10月の第3土曜日が「シルバーの日」として設定されており、各センターにおいて普及啓発活動や社会奉仕活動等を計画したが、コロナ禍により中止や縮小を余儀なくされたセンターも少なくない。

(2) 会報の発行

センター役職員、会員等を対象に機関紙「道シ連」を年2回発行した。

発行月	10月、1月
発行部数	各1,800部
配布先	各シルバー人材センター、賛助会員、関係機関・団体、全シ協、 高齢者事業団

(3) 事業概要の作成

連合会事業の実施状況及び各センターの事業実績を中心に編纂し、関係機関・団体への参考資料として配付した。

発行月	8月
発行部数	400部
配布先	各シルバー人材センター、賛助会員、関係機関・団体、全シ協、 高齢者事業団

(4) 高齢者雇用就業パネル展の開催

北海道経済部、北海道高齢・障害者雇用支援センターと共催、北海道労働局の後援で高齢者就業事業等のパネル展を実施し、広く高齢者就業事業等の周知・啓発を行った。

開催日	令和4年9月26日(月)～27日(火)
場所	北海道庁1階ロビー
内容	パネルの展示、リーフレット配布、石狩市SC木工製品展示

(5) 普及啓発リーフレットの作成

新規会員募集、発注者向けとして請負用啓発リーフレット及び派遣用啓発用リーフレットを作成、各センターへ送付し、普及啓発及び就業開拓の際に活用した。

作成月	8月
作成数	請負用啓発リーフレット 8,300部 派遣用啓発リーフレット 3,300部
配布先	各シルバー人材センター

2 就業開拓等事業

(1) 就業開拓の推進

当連合会として、北海道知事、北海道労働局長、自由民主党北海道支部連合会長、公明党北海道本部長、立憲民主党道連会長、国民民主党北海道総支部連合会長に対し、インボイス制度の特例的措置についての支援を求めるとともに、シルバー人材センター会員の就業先確保のための公共事業発注、補助金確保、就業機会拡大、収支相償の緩和等についての訪問要請を行った（国民民主党は文書要請）。

また、経済6団体等に対しても、シルバー事業のPRと併せて受注確保についての文書要請を行った。

さらに、令和5年3月1日開催の理事長会議において会員拡大を前提としての就業機会の拡大について課題の共有化を図った。

3 交流研修事業

(1) 業務担当者研修会の開催

開催日	令和4年10月20日（木）
内容	道シ連説明 ・令和5年度シルバー人材センター関連事業について ・会員拡大の取組みについて ・インボイス制度について ・適正就業ガイドラインについて

(2) 役員研修会の開催

開催日	令和4年9月1日（木）
内容	「シルバー人材センターの発展に向けた役員の役割」
講師	全国シルバー人材センター事業協会 専務理事 姉崎 猛 氏

(3) 派遣実務担当者研修会の開催（オンライン会議）

開催日	令和5年1月19日（木）
-----	--------------

内 容 「インボイス制度開始に伴う派遣システムの新しい機能について」
・講師 NRI 社会情報システム 古川慶子 氏
道シ連説明 ・労働者派遣法の実務について

4 指導相談事業

(1) 個別訪問指導

11ヵ所のシルバー人材センターを訪問し指導・相談を実施した。

指導・相談実施状況

9月 石狩市 SC、千歳市 SC、むかわ町 SC、安平町 SC、厚真町 SC

10月 余市町 SC、小樽市 SC、砂川市 SC、滝川市 SC、北広島市 SC、旭川市 SC

(2) 補助金関係書類作成指導

会計担当者交代等により指導が必要となったセンターに対して、個別に訪問及びオンラインを活用して実務について研修した。

5 安全・適正就業推進事業

安全・適正就業推進基本計画に基づき、安全就業意識の啓発や事故防止の徹底を図るため、安全就業推進員研修会を開催した。

また、安全適正就業ガイドラインの周知について、各センターを通じて実施した。

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催

コロナ禍によりオンライン開催とし、各委員と安全に関する協議を行った。

(2) 安全就業推進員研修会の開催（オンライン会議）

各センターの安全就業推進委員を対象に、シルバー事業として実施している請負・委任に係る安全就業対策の緊要性の認識を高めるとともに、シルバー人材センターの各種作業現場における様々な危険を作業指示者や管理・監督者が的確にとらえて、会員に対して適切かつ具体的な作業指示を行うための能力向上を主眼に置いた専門家からの講演を実施した。

開催日 令和4年11月10日（木）

内 容

・講演 「適切指示能力向上セミナー」

講師 中央労働災害防止協会北海道安全衛生サービスセンター
所長 山越 誠治 氏

(3) 安全就業強化月間の設定

全シ協の安全就業強化月間（7月）に併せて設定し、各センターと連携・協力して会員の安全意識の高揚を図った。

6 調査研究事業

(1) 資料の収集と提供

労働市場、福祉・介護等関係資料の収集、集約、提供を行った。

月刊シルバー人材センター（全シ協刊行）を北海道・北海道労働局等関係機関、報道機関、一定規模以上の高齢者事業団に配布した。

(2) 医療費調査の実施結果の活用

札幌市シルバー人材センターの協力を得て実施した「シルバー人材センター会員に係る医療費調査報告」を取りまとめ令和4年6月16日に発表した。この反響は大きく、8月4日の北海道新聞朝刊をはじめ業界紙にも記事が掲載されるなど、シルバー人材センター事業の有益性を社会に広めることができた。

7 シルバー人材センター設置促進事業

(1) 未加盟高齢者事業団等関係機関に対し道シ連の機関紙「会報 道シ連」ほか関係資料を提供した。

(2) 令和3年度「事業概要」を道内の市町村、未加盟事業団に送付し、シルバー事業及び連合会についての理解と協力を求めた。

8 職業紹介事業

雇用を希望する高齢者に就職を斡旋する職業紹介事業について、各シルバー人材センターにおいて求職者に適合する求人の確保に努めた。

9 労働者派遣事業

令和4年度は道内36の実施事務所が事業を実施した。

シルバー人材センターと密接な連携を図り、労働者事業の円滑かつ適正な運営を図った。

就業時間拡大の取組については、令和元年10月1日に北海道知事から指定を受けたところであり、当面、指定された業務拡大範囲の実績向上を図ることとしている。

【令和4年度 36実施事務所実績】

●就業実人員 1,434人 ●就業延人日 150,611人日

●派遣件数 1,265件 ●派遣事業収入 880,572千円

1.0 高齢者活躍人材確保育成事業の実施

北海道労働局から随意契約で受託(予算は前年度比4割減)し、新規会員の増加を目的とした説明会や、就業体験、技能講習を実施した。

【取組状況】

- ・事業周知・広報 44回(自治体広報紙、新聞、生活情報誌、ポスティング等を活用した広報の実施)
- ・説明会 23回(参加者283人、入会者102人、就業者55人、新規入会者就業率53.9%)
- ・就業体験 7回(体験者16人、入会者8人、就業者7人、体験参加者就業率43.8%)
- ・技能講習 5回(受講者34人、入会者1人、就業者17人、講習参加者就業率50%)
- ・新規会員数 111人(事業目標80人)、達成率138.8%
- ・就業率 55.0%(就業者61人(職転会員18人を除く。)÷新規入会者111人)

1.1 女性対象イベントの開催

コロナ禍により全シ協からの具体的指示なく開催に至らなかった。

1.2 インボイス制度への対応

(1) 会計担当者研修会の開催(オンライン)

開催日 令和4年9月8日(木)

内容 ・消費税インボイス制度について等

講師 ・税理士法人中央会計事務所 社会保険労務士 政氏 幸子氏

(2) インボイス制度説明会の開催(オンライン)

開催日 令和4年12月13日(火)

内容 ・インボイス制度への対応に係る実務上の留意点等

講師 ・衣目公認会計士事務所 公益法人統括マネージャー 氏原 謙一氏

1.3 諸会議の開催

会 議 名	開 催 年 月 日	開 催 場 所
定 時 総 会	第1回 令和4年6月16日(木)	ホテルポールスター札幌
三 役 会	第1回 令和4年8月24日(水)	道シ連事務室
	第2回 令和5年1月26日(木)	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
理 事 会	第1回 令和4年6月1日(木)	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
	第2回 令和4年10月13日(木)	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
	第3回 令和5年3月16日(木)	TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前
役員研修会	第1回 令和4年9月1日(木)	ホテルポールスター札幌
理事長会議	第1回 令和5年3月1日(水)	ホテルポールスター札幌
事務局長会議	第1回 令和4年7月7日(木)	TKP ガーデンシティ札幌駅前